

愛媛県立松山北高等学校
第78回 入学式

式 辞

心地よい春の光と緑が、学び舎を優しく包む季節となりました。本日、ご来賓の皆様のご臨席と保護者の皆様のご列席を賜り、令和六年度愛媛県立松山北高等学校入学式が挙行できますことは、在校生並びに教職員一同大きな喜びであります。学校を代表して、厚くお礼申し上げます。

ただ今入学を許可しました360名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

本校は、明治33年、北予中学校として創立されて以来、今年で124年目を迎える県下屈指の伝統校です。卒業生は4万人を超え、様々な分野で活躍し大きな功績を残されております。本校第4代校長であった秋山好古先生は、あの日露戦争で、日本を守った最大の功労者の一人です。決して戦争を美化するものではありませんが、あるとき、作戦を考えた弟の天才真之とともに、この二人がいなければ、今の日本はなかったかもしれませぬ。

そのような秋山好古先生の教えが、脈々と受け継がれる本校で、継承されてきた校風は、「質実剛健」と「清楚」です。飾りがなく、たくましく、清らかなこと。この校風を皆さんに

はぜひ覚えておいてほしいと思います。本当に凄い人は、凄そうにしませんし、本当に偉い人は偉そうにしません。飾り気がなく、たくましく、清らかなこと。

そして、もう一つ。校訓「文・武・心」です。文武両道という言葉はよく聞くとありますが、本校には、そこに、「心」が加わっています。心が強く、美しくないと、これから生きていく中で、周りの人に自分の本性を見透かされてしまいます。北高での三年間で、「文・武・心」の三道三立の精神を大切にしてください。

皆さんと入れ替わりで、この春北高を卒業した生徒は、国立公立大学に261名が合格しました。本校史上最多です。また、在校生には、毎年、スポーツ・文化両面で全国レベルで注目されている人がいます。高みを目指し、切磋琢磨しながら仲間とともに人間力を高め合い、学ぼうとするところが学校です。刺激がいっぱいの北高で、皆さんが日々成長していくことを楽しみにしています。

保護者の皆様、本日、お子様の晴れの姿をご覧になり、大きな喜びを感じておられることと存じます。これまで、お子様の成長を深い愛情と厳しさをもって、見守り、支えてこられましたことに、深く敬意を表します。実は、私も、この春まで、北高生の保護者でした。だから、私の言葉を信じていただきたい。この3年間、感動の連続でした。もちろん、苦しいこと、つらいこともあると思いますが、本校職員は、全力でお子様たちを支え、指導し、応援します。皆様方にも、感動の涙をぜひ流していただきたいと切に願います。

結びに、県内屈指の高い倍率を勝ち抜き、今ここに在る皆さんですから、自信を持っていることと思います。しかし、常に謙虚であってほしい。自分が正しい、自分が絶対だと思った時点で成長は止まります。本校生徒の努力目標「心躍る学び合い、一朶の雲を目指して」、我々教職員も含めて、ここに在る全員で成長していきましょう。以上、式辞といたします。

令和六年四月八日

愛媛県立松山北高等学校長 井上 浩